



発行人  
公益財団法人 愛媛県消防協会  
松山市築山町1番35号  
電話(921)8517番  
会長 土居 敏夫  
一部50円

平成28年度全国統一防火標語  
消しましょう  
その火その時  
その場所で

### 平成二十八年度

## 愛媛県消防団員意見発表会 正副団長消防長等研修会

十月八日(土)午後一時三十分から松山市大手町のホテルJALシティ松山において、愛媛県消防団員意見発表会並びに正副団長消防長等研修会を開催した。  
県内の各消防団長・消防長ほか百二十五名が参加し、萬



條業務執行理事の開会のことば、土居協会長の開会あいさつ、意見発表会に移り、愛媛新聞社編集局長 池田正人様、愛媛県民環境部防災局消防防災安全課長 永井孝様、愛媛県消防長会長 芳野浩三様、土居協会長、萬條・井戸・中川各業務執行理事の七名が審査を行った。  
発表者は、各支部から一名選出し、四国中央市消防団 寺尾進太郎氏が「あたり前のことをあたり前に」、松前町消防団 池内泰介氏が「消防団と私の背中を追いかけよう」、西予市消防団 中山知哉氏が「地域消防団とのかわり」と題し意見発表を行い、池田審査長から講評及び審査結果の発表の後、土居協会長が表彰を行った。

#### 審査結果

【最優秀賞】  
松前町消防団

池内 泰介 氏

【優秀賞】  
四国中央市消防団

寺尾進太郎 氏

西予市消防団

中山 知哉 氏

休憩後の研修会では、国土交通省四国地方整備局企画部



部長 畠中秀人様を講師に迎えて「四国の防災・減災と社会資本の整備」と題して、四国地方整備局の仕事を始め、大規模災害時の対応や被害に備

## 消防団員確保 キャラバン隊出発式

平成二十八年度消防団員確保キャラバン隊出発式が十月八日(土)JR松山駅前広場

愛媛県消防学校初任教育課程卒業式が九月二十三日(金)県消防学校大教室において、中久保消防局長をはじめ芳野消防長会長、土居協会長、訓練生の各所属長が出席し、初任科教育訓練を終えた五十八名の卒業式が、厳粛に挙行された。

## 愛媛県消防学校 初任教育課程卒業式

まず、一人ひとりの氏名を読み上げ代表者に卒業証書の授与が行われた後、最優秀賞、優秀賞、敢闘賞、愛媛県消防長会表彰の褒賞が授与された。  
続いて、近藤学校長から「卒業おめでとうございます。本校に入校し六カ月間にわたり、消防に関する広範な知識や技術、技能の習得に努めるとともに、風雨や猛暑酷暑の中汗と泥にまみれながら厳しい訓練に取り組みてきました。互いに切磋琢磨する中で「安全」「確実」「迅速」を中心仲間を大切にすること、助きたい気持ちを持ち続けること等々、消防人として欠かすことのできない重要なエッセンスを学び、九月十日に実施した実技訓練発表会では、頼もしくまた、心強く感じました。そして、いよいよ消防の現場という新たなステージに立つことになりましたが決してあきらめない気持ちや自信と勇気をもって果敢にチャレンジしてもらいたいと思います。」と式辞があり、臨席した来賓から祝辞をい



- 愛媛県消防長会表彰  
西条市消防本部 高井 翔伍
- 敢闘賞  
東温市消防本部 武田 駿平  
松山市消防局 今村 凌晟
- 優秀賞  
松山市消防局 藤 健次  
宇和島地区広域(事) 武市 允希  
鈴木時之進
- 最優秀賞  
新居浜市消防本部 大川 勇介

ポンプ操法最強コンビ!

トーハツ VCPROII  
キンパイスーパーランナーホース

株式会社 ヤマダ 1910年創業

TOHATSU 小型消防ポンプVFシリーズ 電子制御 燃料噴射装置

株式会社 吉谷機械製作所 消防ポンプ自動車 化学消防自動車

テイセン テイセン救助工作車 キンバイ消防ホース

YAMATO ROTEL ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号  
TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

ただいた。  
卒業生を代表して訓練生総代の西条市消防本部 高井翔伍訓練生から「厳正な規律と礼節に伴い訓練では体力面・精神面で困難な場面に幾度となくぶつかりましたが、そのたびに仲間と助け合い、高め合い乗り越えることができました。この先様々な重圧で壁にぶつかることもあると思うが、この半年間で学んだことを糧に乗り越えていきたい。さらに、住民から信頼されるよう地域社会の安全安心を担う

支部だより

「女性消防団員体力錬成  
レクバレー大会」に参加して



(公財) 愛媛県消防協会業務執行理事  
中予支部長  
井戸 善昭

全国的に減少の続く消防団員の確保を最優先事項として捉え、各地自体ではあらゆる方法で消防団員の確保に努めているところですが、近年における消防団員の高齢化やサラリーマン化などの影響により消防団員の確保は極めて困難な状況にあります。

そのような中、女性ならではの視点により、効果的な住民指導などを積極的に推進するため、女性消防団員の採用が全国

的に広がり、現在では全国で約二万四千人の女性消防団員が活躍しています。そのうち、中予支部管内では百七十四人の女性消防団員が各市町の実情に合った活動を展開しています。

中予支部では、この女性消防団員の活動を活性化させ、消防団そのものを元気にしようとして、平成十六年度から「女性消防団員体力錬成レクバレー大会」を行っています。今年も九月十七日(土)に松前公園体育館において、女性消防団員や消防団幹部、また、各市町の消防職員など約九十名にご参加いただき、中予支部消防のさらなる連携強化につなげることができました。今年の大会結果は、王者松前町が七連覇、第二位が東温市、第三位が伊予市であり、打倒松前町で臨んだ大会でしたが、日頃から体力錬成でレクバレーを行っている松前町には一歩及ばず、悔し涙を流した女性団員もいたかわかりません。

今年大会に参加して、女性消防団員の「元氣」を改めて感じ、それにつられ消防団の幹部や職員の方々が元氣になれた一日となりました。

このように中予支部では体力錬成大会をはじめ、十月二十三日(日)に開催を予定しています。「女性消防強化対策研修会」など、女性消防団員が交流できる場を積極的に設け、互いに刺激しあい切磋琢磨していくことで女性消防団が活性化し、これが結果的に消防団員の確保や充実強化につながることを心から



願います。  
また、愛媛県消防協会が事業展開している「消防団員確保キ

女性消防団だより

女性消防団員の普及を目指して



四国中央市消防団本部 班長  
久門 美紀子

現在、四国中央市消防団には十二名の女性消防団員が在籍しており、そのうち団本部に八名、伊予三島方面隊に四名所属しております。私たち団本部女性部は活動を開始して二年目になります。当初はわずか四名からのスタートで皆が右も左もわからず、気持ちだけが焦っていたように記憶しています。

一年目の活動内容として

は出初め式などのイベント対応や秋の全国火災予防運動期間中に、地元で開催されている産業祭での女性消防団員加入促進運動でした。その時に感じたことは市民の皆さんに女性消防団員の活動があまり知られていないことでした。

二年目である今年には仕事と家庭を両立しながらも、消防団員として知識と技術の向上を目指し、応急手当普及員となり、現在、市民の皆さんを対象にAED講習など救急救命の普及に努

メラバン隊」や「女性消防団員加入促進アピール大会」も皆さんのお力をいただきながら成功

裏に収め、これからの愛媛消防を元気にしたいと思います。

めております。また、消防署職員指導による消火栓取扱い訓練を実施水で行うなど、恵まれた環境で学べることに日々感謝しております。軽可搬ポンプ操作については隣市である新居浜市女性消防団の皆様のご厚意により、合同練習に参加させていただいております。

女性同士、交流を深めながら、少しずつではありますが、消防団員としての自覚を持ち、日々活動の幅を広げております。万一の災害に備えて私たち女性消防団員ができること、それは地域の防災、減災の啓発活動だと思っております。市民の皆さんに信頼され、安心に暮らせるまちづくりのために、皆が一丸となってこれからも活動して行きたいと思っております。

一般住民の防災活動等

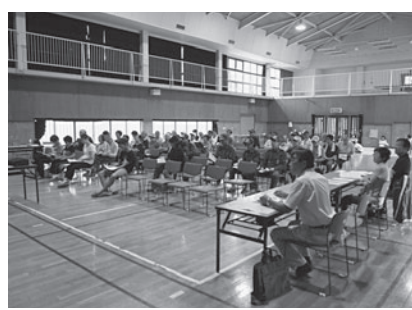
あなたは 災害時 避難場所・避難所を知っていますか？



城廻自治会防災会 会長 長岡 靖人

私たちの防災会を紹介します。城廻自治会防災会は、平成二十一年三月に結成されました。我々の地域内では、急傾斜地区や土砂災害警戒区域など危険箇所が点在しており、自然災害も幾度となく発生し水害や土砂災害を経験してきました。こうした背景もあり、地域住民の防災意識も高く、毎年実施している自主防災訓練は、多くの参

加者のもと行っております。また訓練については、自治会内でも地域ごとに驚異となるさまざまな災害が考えられることから、自治会内の区別に毎年独自の防災訓練を企画・立案し、それを受けて防災会本部役員と地区役員及び地域住民が一体となって取り組んでいます。また消防署や地元消防団との連携も密にしております。合同での防災訓練を実施しております。



れた避難所運営ゲームHUG(HUG)を通じて避難所運営の難しさを痛感し、こういったより実践的な訓練を行って行く必要性を強く感じました。其上、最近では直下型地震や土砂災害・大水害が発生し被災した住民が避難所に集まってきました。その対応に追われ、きびきびとした防災会の活動がよく報道されています。有事の際、我々防災会は活動できるかとも不安でした。そのような思いもあり、その後、町防災担当危機管理

- 各種消防設備保守点検
- 消防ポンプ自動車
- 火災通報装置工事保守点検
- 各種消防設備設計・施工
- 各種消火器 簡易消火設備販売
- その他各種防災用品 非常食販売

ご相談・ご用命は…

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号  
 電話(089)934-4800  
 FAX(089)934-5533



選手宣誓



出場選手整列



表彰式 小型優勝 伊方三崎



表彰式 個人 最優秀選手たち

優勝	伊方町消防団三崎分団
2	松山市消防団久米分団
3	西予市消防団宇和分団第2部
4	四国中央市消防団豊岡分団第2部
5	鬼北町消防団日吉方面隊第6分団

優勝	伊方町消防団三崎分団
2	伊方町消防団瀬戸中央分団
3	宇和島市消防団三間方面隊第4分団第3部
4	松山市消防団北条分団
5	大洲市消防団正山分団

指揮者	松山市消防団久米分団 部長 石川 進
1番員	松山市消防団久米分団 団員 森山 貴丸
2番員	内子町消防団内子方面隊内子分団第3部 団員 酒井 勝也
3番員	四国中央市消防団豊岡分団第2部 団員 高橋 英明
4番員	松山市消防団久米分団 班長 武智 正豊

指揮者	伊方町消防団三崎分団 班長 田中 浩二
1番員	四国中央市消防団天満分団第1部 班長 寺尾進太郎
2番員	四国中央市消防団天満分団第1部 団員 清水 宏和
3番員	大洲市消防団正山分団 団員 思田 亮

第二十九回愛媛県消防操法大会が、七月三十一日(日)、愛媛県消防学校大規模訓練場で行われ、各市町(各地区)大会を

# 第29回 愛媛県 消防操法大会

7月31日(日)  
愛媛県消防学校大規模訓練場

勝ち抜いた「ポンプ車の部」十五チーム、「小型ポンプの部」十七チームが出場し、日頃の厳しい訓練成果を発揮して競い合いました。

当日は萬條業務執行理事の総指揮のもと各市町団長、出場選手が入場し人員点呼を行いました。開会式は、中久保防災局長の開会のごとびに始まり、第二十七回大会優勝チームから優勝旗が返還され、主催者あいさつを愛媛県知事代理 高橋防災統括部長・土居消防協会長が行い、来賓祝辞・祝電をいただきました。その後、選手を代表して東温市消防団 大西強選手の選手宣誓、愛媛県消防学校 近藤正典学校長から競技上の注意の説明があり競技に入りました。競技は滞りなく進み全ての競

## 第二十五回 全国消防操法大会

十月十四日(金)  
長野オリンピックスタジアム

日本消防協会が主催する第二十五回全国消防操法大会が、十月十四日(金)長野県長野市長野オリンピックスタジアムで開催された。

大会は、四十七都道府県から代表チーム(ポンプ車操法の部二十五チーム、小型ポンプ操法の部二十二チーム)が、日頃の厳しい訓練成果を発揮し競い合いました。

技が終了した。競技終了後、閉会式に移り、近藤学校長から競技結果の発表の後、表彰を行った。(入賞チーム・最優秀選手は表のとおり)

その後、中川業務執行理事の万歳三唱、井戸業務執行理事の閉会のごとびに大会は終了した。

## 第三十五回 全国消防殉職者慰霊祭

九月二十九日(木) ニッショーホール

日本消防協会主催による「第三十五回全国消防殉職者慰霊祭」が、九月二十九日(木)午前十時から日本消防会館内「ニッショーホール」において、内閣総理大臣代理萩生田内閣官房副長官、総務大臣代理原田総務副大臣をはじめとする多くの来賓並びに全国の消防関係者が参列のもとで執り行われました。

今年四月には九州の皆さんが考えてもいなかった熊本地震が発生し、またこれまでにない進路の台風もあり、各地に甚大な被害をもたらしました。加えて今後大規模な地震津波の発生も懸念されており、このような中「消防団を中核とした地域防



の趣旨を実現するため、私たちの消防関係者は地域の総力を結集し、地域防災力の一層の充実強化を推進していかなければなりません。」との式辞に基づき、内閣総理大臣、総務大臣、ご遺族代表から「追悼のごとび」をいただき、参列の皆様による献花につづいて、「(一社)江戸消防記念会による鎮魂の歌(木遣り)が捧げられました。本県からは、協会から土居協会長、遺族会から中嶋遺族会会長ほか四名のご遺族が参列されました。



各種消防ポンプ車  
防災用品  
各種消防設備  
販売

# 新日本ライフテック

株式会社ナカムラ  
消防化学 代理店

ヤマトプロテック  
株式会社 代理店

〒790-0054 松山市空港通2丁目18番32号

☎089-908-5766 ☎089-908-5767  
✉lifetech@dune.ocn.ne.jp

～災害に強いまちづくりをお手伝いします～

家庭用からプロ使用まで  
消防・防災の専門商社

ニーズを先取りする  
**ジェットホース**  
操法大会最適ホース  
コンペVシリーズ

**MURITA**  
SUPER GYRO LADDER

ラビット可搬消防ポンプ Fiシリーズ **Rabbit**

**Fi**  
series

消防ポンプ自動車  
消防ホース  
防災・救助機器  
避難用品

小型動力ポンプ  
消防被服  
消火器・消火装置  
自主防災・企業防災用品

**(株) 岩本商会**  
〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1  
TEL089(947)2111・FAX089(947)2116

高松支店 / 宇和島営業所 / 姫原倉庫  
http://www.iwamotosyokai.co.jp

# 防火防災に関する作文

## 最優秀賞

### 命の灯を大切に

今治市立天西中学校 二年 高橋 温人

「ウウウウウー」夜の町に大きくサイレンが鳴り響いた。続けて有線放送が入った。火事だそう。この町は火事が無いわけではないが、数は少ない。年に数回程度だ。だから、火事が起きた次の日は、ちよつとした騒ぎになる。「ウウウウー」最初のサイレンから二時間経過したころだったろうか、消火のサイレンが鳴った。今回ののは長かったな、ぼくは心の中でつぶやいた。その消火活動に人の命が左右されていることも、懸命に消火活動を行っている人がいることも、深く考えずに。

数年前、ぼくの父は消防団員の一人だった。毎日用があるわけでもなかったから、あまりその内容を知ることがなかった。しかし、まだぼくが幼かったとき、夜にあのサイレンが鳴った日、父は家を飛び出るように消防団が設置されている所へ向かった。かなり急いでいたのを、今でも覚えている。父が家を出て数分後、消防車のサイレンが聞こえてきた。本当に短い時間で出動していたように思う。父はぼくが寝た後に帰ってきていた。朝起きて玄関を見ると、消防団の服や靴がそのままあった。その火事がどのくらいひどかったか、話は聞いていないが、きつと大変だったのだろう。ぼくが「大変だった？」と父に聞くと、父は「とても疲れたよ。」とだけ返した。今考えると、その消火活動に人の命が左右されるのだから、簡単に「大変だ」とは言えないのだと思う。それに、自分の命も危険

にさらされるのだから、疲れるのも当然だ。それでも誰かの命を救うため活動する消防団員を、ぼくは本当にすばらしいと思う。ぼくは火事の現場において、消すべき火と消してはいけない灯があると考える。一つは火災の火。もう一つは命の灯である。火災の火は一刻も早く消さなければならぬ。と同時に、人の命の灯も守らなければならぬ。そのためには、消防団は地域を守るために、必ず必要だと思ふ。地域の消防団は、消防隊が来るまでに、消火の準備または消火活動を行う。消防隊だけでは間に合わないところをサポートしているのだ。それで救われる命はとて多いはずだ。

## 優秀賞

### 僕にできることは

愛南町立一本松中学校 一年 田原 光

しかし、そんな救世主でさえ、その現場で命を落としてしまう可能性がある。火災が起きた家の主人やその家族は助かって、も、団員、隊員が命を落として、それは救命活動失敗と言えると思う。そうはならないために、まず自分ができる身近なことは、とにかく火事を起こさないことだ。火の危険性をよく知り、安易に火を使わず、もしもの時にはどう対応すればよいか、初期消火の仕方から避難の仕方まで、しっかりと学んでおけば、誰も命を落とす心配はなくなる。自分の命を危険にさらしても、地域を守る消防団員。彼らのような人々がいるからこそ、自分たちは安全に暮らしている。そのことに感謝の気持ちを持ち、この先も暮らしていきたい。そして、少しでも火災で命を落とす人がいなくなるよう、自分でできる用心をし、火災を防ぐ方法を学んで、自分もこの地域を守る人になっていきたい。

「水だ。水を持って来い。」叫び声が聞こえた。空気にさえ亀裂を走らせるような、緊迫感が伝わってくる声だった。火事だ。あつという間に建物の形を失わせ、火の勢いは強くなっていく。近所の人たちが火を消そうと、田んぼに使われていたポンプで水をかけていた。そこにいち早く駆け付けたのは、地域の消防団の人たちだった。火の延焼を防ぐために、的確に火元を見極め、手際よく消火活動を行っていた。その活動は、消防車と消防隊員の到着によってさらに加速し、僕の予想よりも早かった火の回り以上の速さだ

## 防火ポスター入賞作品



中学生の部【最優秀賞】 松前町立北伊予中学校 太田 哲平



中学生の部【優秀賞】 松山市立西中学校 木下 若葉



小学生の部【最優秀賞】 今治市立近見小学校 5年 村越 咲希



小学生の部【優秀賞】 西条市立壬生川小学校 4年 新居田 春樹

も、「一本松方面隊第四分団」があると言う。消防団員を年齢で見ると、二十代後半から四十年代半ばの人たちが多い。家庭でも地域でも中心となる年齢の人たちなので、みんな生計を立てるための生業がある。その上に、いざというときの「消防団員」としての仕事も行っているのだ。体力的にも精神的にも大変なことだと思う。僕が一番心を動かされたのは、この消防団員の人が、定期的に詰所に保管しているホース等の点検をしたり、消火活動の訓練をしたりしていることだ。僕が通う中学校のグラウンドでも、夜、訓練しているのを見たことがある。誰もが一日の仕事を終えて家に帰るほつとするその貴重な時間を使っておこなっているのだから、「地域に貢献したい」とよく言うけれど、その思いを実際に行動に移している人はどれくらいいるだろうか。そういう僕も、火事を目の当たりにした

とき、一人の傍観者にしかならなかった。学校では火事や地震を想定して繰り返し避難訓練を行っているのに……。

消防団員のある人が、「自分が十分働ける歳になって団員の一人になったんやけん。やらんといけんやろ。大したことはできんけん、自分が任されたことの中でできることをやったら、誰かの命が助かったりするのかが残せたりするけんね。」と言った。では、今の僕には何ができるのか。火災が発生したときは、まず、自分の命を守る意味で、安全を確認して避難すること。興味本位で見に行き消火活動の邪魔をしないこと。火災発生を見つけたときは、近くの大人に連絡し、消防署に通報してもらうことだ。そして、大人になったら、地域の消防団員として、自分にできることをして、地域の役に立ちたいと思っている。

<http://www.ogawa-pump.co.jp>

OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。

多くの資器材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。コンパクトにまとめあげた GD-1

小川ポンプ工業株式会社 愛媛支社 〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号 TEL:089-972-2392 FAX:089-972-2400 E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

**シバウラ**  
空冷業界唯一  
空冷式消防ポンプ

B-2級34kW **TF745MH**  
B-3級32kW **TF640MH**

**水冷初**  
**ラジエター搭載**  
水冷Fi式消防ポンプ

操法で活躍!!

B-2級46kW **SF756ZXi**  
B-3級43kW **SF656ZXi**

**SHIBAURA**

楽々操作が自慢の「自動吸水タイプ」にFiを装備!

B-2級46kW **SF756AZi**  
B-3級43kW **SF656AZi**  
B-3級34kW **SF651AZi**

シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店  
(有) 愛媛芝浦ポンプ商会  
TEL 089-933-6355 FAX 089-933-9550  
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号